

情報公開文書

研究の名称	胆管結石治療困難例に対する内視鏡治療の現状の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 内科学第三講座 安田 一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年06月01日から2021年09月30日の間に総胆管結石に対して内視鏡治療を施行された患者さんを対象としています。</p> <p>【研究の目的・意義】 総胆管結石は総胆管に存在する結石のことであり、胆管の出口である胆汁の流れを阻害することで黄疸や急性胆管炎の原因となることがあります。近年では内視鏡治療の技術、器具の進歩により多くの総胆管結石を内視鏡的に治療することが可能となりましたが、大きな結石や腹部手術術後の患者さんなど、依然として治療が難しい症例も少なくありません。我々の施設で治療を行った症例を再検討し、方法とその結果を確認することで治療方針の見直しを行うとともに、今後の方針を検討することが可能になると考えています。 今回我々は当院で施行した総胆管結石の治療方針およびその結果を再確認し、よりよい治療方針を再検討することとしました。</p> <p>【研究の方法】 これまでの総胆管結石の治療方針を見直し、今後の方針を検討することが本研究の目的です。本研究は、2018年06月01日から2021年09月30日の間に総胆管結石に対して内視鏡治療を施行された患者さんを対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年03月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>患者基本情報</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 年齢 b. 性別 c. 基礎疾患 d. 内服薬 e. 診断契機 f. 症状 <p>総胆管結石の治療手技の詳細 結石の詳細情報（個数、サイズ） 胆管の詳細情報（形態、胆管径） 十二指腸乳頭部の情報（傍乳頭部憩室の有無） 手術歴（手術術式、手術の時期）</p>

	カルテから収集したデータについては匿名化した上で、検討を行います。個人情報につながるものについては鍵のついたキャビネット内に保存し、個人情報の流出リスクについては慎重に対応します。 本研究に関わる情報を他機関に提供する予定はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学医学部内科学第三講座において診療情報が解析されます。施設責任者は研究責任者である安田一朗です。
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系 内科学第三講座 教授 安田 一朗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail hayashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院第三内科 林 伸彦